



深谷市イメージキャラクター  
ふっかちゃん

第 2 次

深谷市  
総合計画

基本構想  
(2018~2027)

前期基本計画  
(2018~2022)

概要版



深谷市

## ごあいさつ



深谷市長

小島 進

このたび、本市のこれからの新たなまちづくりの指針として「第2次深谷市総合計画」を策定いたしました。

近年、人口減少社会の進行、経済環境の変化、市民の安全・安心に対する意識の高まりなど市政に求められる役割はますます多様化する中で、今後の市政運営においては的確な判断とスピーディーな対応のもと限られた資源を効率・効果的に配分していくことが重要です。

こうした状況のもと、複雑・多様化する市民ニーズや行政課題に対応していくために「第2次深谷市総合計画」では、基本構想の中で市民と行政の共通の目標として将来都市像を「元気と笑顔の生産地 ふかや」と定め、本計画を進める上での基本姿勢として「多様性を尊重する」、「魅力を生み出し、伝える」、「未来への責任を持つ」の3つを掲げ、将来都市像の実現を目指してまいります。

その具体的な取組は、前期基本計画に掲げており、前期基本計画では先導的かつ重点的な取組として定めた5つの主要プロジェクトを始めとし、各種施策の実施により将来都市像の実現に向け取り組んでまいります。

これからの10年間、本市が進むべき方向を示す「第2次深谷市総合計画」がスタートします。これからの深谷市が輝かしい未来へと発展するよう、市民の皆様と共に歩みを進めてまいりますと存じますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30(2018)年3月

## 計画の構成・期間

本計画は、本市の将来のあるべき姿とまちづくりの方向を明らかにする「基本構想」と、将来のあるべき姿を具現化するために必要となる施策を体系的に定めた「基本計画」で構成されています。

基本構想の計画期間は、平成30(2018)年度を初年度とし、平成39(2027)年度を最終年度とする10年間とします。

基本計画の計画期間は、前期基本計画と後期基本計画とに分け、前期基本計画の計画期間を5年(平成30(2018)年度～平成34(2022)年度)、後期基本計画の計画期間を5年(平成35(2023)年度～平成39(2027)年度)とします。

### 基本構想

将来都市像  
(P.2)

元気と笑顔の生産地  
ふかや

まちのイメージ  
(P.3,4)

健康でいきいきと暮らせるまち  
(子育て・保健・福祉)

次代を担う人と文化を育むまち  
(教育・文化)

活力とにぎわいにあふれるまち  
(産業振興)

安心とやすらぎを感じられるまち  
(暮らし・環境)

快適で利便性の高いまち  
(都市・生活基盤)

みんなで創る協働のまち  
(協働・行政経営)

### 前期基本計画

主要プロジェクト  
(P.5,6)

行政分野別計画  
(P.7)

将来都市像

# 元気と笑顔の生産地 ふかや



深谷市の将来のあるべき姿とまちづくりの方向を明らかにし、市民と行政の共通の目標となる将来都市像として

**「元気と笑顔の生産地 ふかや」**を掲げます。

深谷市が掲げる将来都市像には、次のような「想い」が込められています。

深谷市は「元気」が湧いてくるまちを目指します。

**「活力とにぎわいにあふれるまち」**

そこには、農業、商業、工業の各産業が盛んで、雇用の場となる力強い産業が育ち、人々や企業が躍動する元気があります。

**「次代を担う人と文化を育むまち」**

そこには、皆が子どもたちの成長を支え、育み、自ら学び成長をし続ける元気があります。

**「みんなで創る協働のまち」**

そこには、市政参画や市民協働の取組が活発に行われ、それぞれが持てる力を発揮し、いきいきと活動する元気があります。



ふかやの



ふかやの



深谷市は「笑顔」にあふれるまちを目指します。

**「健康でいきいきと喜らせるまち」**

そこには、子どもから高齢者、障害者、性別や年齢などを超え、社会全体で支え合いながら、誰もが明るく幸せに暮らす笑顔があります。

**「安心とやすらぎを感じられるまち」**

そこには、豊かな自然に囲まれ、互いを思いやり、安全に安心して暮らす笑顔があります。

**「快適で利便性の高いまち」**

そこには、生活環境をはじめ、都市環境、自然環境や農村環境の整備が進み、人々が豊かで快適に暮らす笑顔があります。

農家の人々が丹精を込めて生み育てる農作物のように、また、渋沢栄一が我が国近代の礎を築き上げるために生み出してきた企業のように、

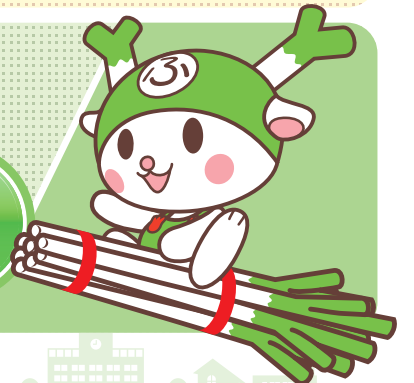
**「元気」や「笑顔」が生まれるまちでありたい**

という想いを「生産地」という言葉に込め、

次代へつなぐまちづくりの目標を

**「元気と笑顔の生産地 ふかや」**とします。

ふかやらしさが  
生まれる



## 将来都市像実現に向けた「まちのイメージ」

「まちのイメージ」とは、将来都市像の実現に向けたまちづくりの方向性を分野別に示すものです。より具体的な内容については、基本計画の行政分野別計画に記載しています。

### 健康でいきいきと暮らせるまち

### 子育て・保健・福祉

誰もが地域で安心して、健康でいきいきと自分らしく暮らせるまちを目指します。

- 誰もが子どもを安心して産み育てられるように…  
子育て環境の整備、子育て支援の充実、子ども・若者の社会参加を促進します。
- 誰もが健康でいきいきと生活できるように…  
保健予防事業の充実、医師の確保や救急医療体制の強化、地域医療の充実を図ります。
- 高齢者や障害者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように…  
高齢者支援の充実、障害者の自立・生活支援の充実を図るとともに、地域福祉を推進します。



### 次代を担う人と文化を育むまち

### 教育・文化

地域社会の中で、子どもはたくましく次代を担う人へと成長し、大人は生涯にわたって生きがいを持って学び活動できる、心豊かでうるおいのあるまちを目指します。

- 次代を担う子どもがたくましく、健やかに成長できるように…  
幼児教育の充実、次代を担う人を育成するための教育環境づくり、地域の教育力の向上などに取り組みます。
- 誰もが生きがいを持ち、心の豊かさを実感できるように…  
活動施設の充実、学びや文化・スポーツ活動などの情報や機会の提供、文化・芸術や歴史・文化財の保存・継承を進めます。



### 活力とにぎわいにあふれるまち

### 産業振興

まちのにぎわい創出や雇用促進の役割を果たす農業や商業、工業を育成・振興し、多くの人が集う活力にあふれたまちを目指します。

- 農業の生産力・競争力を高めるために…  
農業生産基盤の充実、農業の担い手確保・育成、農業と他産業との連携支援などに取り組みます。
- 商業、工業をはじめとする市内産業を活性化するために…  
商業、工業の振興、地域間・産業間で連携した観光振興を支援するとともに、就業支援、勤労者福祉の充実に取り組みます。





## 安心とやすらぎを感じられるまち

## 暮らし・環境

誰もが豊かな自然を感じながら、互いに支え合い、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

- 誰もが安全に、安心して暮らせるまちをつくるために…  
災害に強いまちづくりの推進、消防・救急体制の充実、防犯体制の強化、空き家対策などに取り組みます。
- より良い地域がつくられるために…  
地域コミュニティ活動などの自主的な取組の支援、行政と地域コミュニティとの協力体制の充実、地域の声を市政に反映させる取組を推進します。
- いつまでも住み続けたいと思えるまちにするために…  
緑豊かな自然の保全、環境意識向上のための啓発や教育、資源循環の取組の推進、公衆衛生の機能の維持・向上を図ります。



## 快適で利便性の高いまち

## 都市・生活基盤

生活インフラが整い、かつ生活の拠点と産業の拠点が交通網で結ばれることで、人とモノが安全・快適に移動でき、相乗効果が生み出されるまちを目指します。

- 誰もが安全と安心を感じ、暮らしやすい生活環境を提供するために…  
上下水道などの生活インフラの計画的な整備と適切な維持管理、良好な市街地の形成、自然や景観の保全、公園や緑地、河川などの整備と適切な維持管理を進めます。
- 誰もが目的の場所まで安心・快適に移動でき、活力のある地域を形成するために…  
道路網の体系的な整備、生活道路や交通安全施設の計画的な整備の推進、交通安全意識の高揚を図るとともに、公共交通ネットワークの充実と利用促進を図ります。



## みんなで創る協働のまち

## 協働・行政経営

経営的な視点に立った自立的な行政運営のもと、市民一人ひとりが互いの個性を認め合い、市民と行政がともに力を発揮できるまちを目指します。

- 誰もがそれぞれの個性や能力を認め合い、互いに支え、協力し合えるように…  
一人ひとりの人権が尊重される社会の実現、男女共同参画社会の実現を目指します。
- 人口減少社会において持続可能なまちづくりを進めるために…  
歳入の安定的な確保、限られた経営資源の有効活用、効率的・効果的な行財政運営を推進するとともに、市民協働の体制づくりを推進します。



## 主要プロジェクト

前期基本計画では、先導的かつ重点的に推進すべき取組を主要プロジェクトとして位置付け、将来都市像「元気と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向けて次の5つのプロジェクトによる各種施策の展開を図ることとします。

なお、主要プロジェクトの「主な取組」については、ソフト事業を中心に掲げたものであり、行政分野別計画に位置付けたハード事業と一体的に推進することで、プロジェクトの成果を高めていくこととしています。



出

## 産・子育て安心 ふかやプロジェクト

身近な相談窓口での必要な情報やサービスの提供、地域と連携した教育支援や食育、出産・子育てと仕事の両立支援、再就職窓口との連携など、子育て世代の各ライフステージに応じた支援策を実施します。

プロジェクト指標名

現状値

目標値

主な取組

合計特殊出生率

1.39人  
〔平成27(2015)年度〕



1.44人  
〔平成34(2022)年度〕

子育てがしやすい  
まちと感じている  
市民の割合

67.8%  
〔平成28(2016)年度〕



74.0%  
〔平成34(2022)年度〕

- 妊娠期から子育て期にわたる専門職による切れ目のない支援の充実
- 保育園・学童保育室などの保育サービスの充実
- 学校給食を通じた食育の推進
- 「ワーク・ライフ・バランス」の推進 など

シ

## ニアが輝く ふかやプロジェクト

シニア世代の雇用環境の充実、ボランティアやコミュニティ活動などへの取組に対する幅広い支援などにより、シニア世代の活躍の場を広げ、生活の経済的な安定と地域活力の向上を図ります。

プロジェクト指標名

現状値

目標値

主な取組

60歳代の就業率

56.7%  
〔平成28(2016)年度〕



57.0%  
〔平成34(2022)年度〕

生涯学習や地域活動を  
実践している60歳代の  
市民の割合

68.1%  
〔平成28(2016)年度〕



69.4%  
〔平成34(2022)年度〕

- シニア人材と市内企業のマッチング支援
- シニア世代の活力を生かした学校支援体制の充実
- シルバー人材センターの活用
- 価値観を共有できる仲間との出会いの場や学びの場の提供 など

# 花 園IC拠点発! 元気な産業 ふかやプロジェクト

関越自動車道・花園IC周辺部を広域的な交流・連携拠点とし、市内に人を呼び込み、市内を回遊する仕組みづくりに取り組みます。また、訪れた人々がアンバサダーとなり、深谷の魅力を全国に発信してもらえよう、付加価値を高めた産品などのブランド化や食をテーマとした商品開発やイベントなどを実施します。

プロジェクト指標名	現状値	目標値	主な取組
法人市民税額	13億4,545万円 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ 14億2,000万円 〔平成34(2022)年度〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○深谷テラス内に農業・観光・商工の発信及び活動拠点づくり</li> <li>○6次産業化産品やふかやブランド推進事業との連携</li> <li>○地域資源を活用した新たな体験型観光事業の展開</li> <li>○農商工団体と連携した地域の産業活性化事業の展開 など</li> </ul>
市内観光入込客数	392万人 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ 1,092万人 〔平成34(2022)年度〕	

# 暮 らし安心 ふかやプロジェクト

市民、企業、行政、NPO、学術機関などのさまざまな主体が連携し、災害などで想定される多くのリスクを回避、抑制できる仕組みづくりに取り組み、まちの防災・防犯機能の向上を図ります。

プロジェクト指標名	現状値	目標値	主な取組
災害に対する備えを行っている市民の割合	38.5% 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ 45.0% 〔平成34(2022)年度〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織の連絡協議会を設立</li> <li>○地域防犯パトロール活動の普及促進</li> <li>○空き家相談窓口の設置及び空き家総合相談会の開催</li> <li>○AED協力事業所の創設 など</li> </ul>
人口1千人あたりの刑法犯認知件数	7.8件 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ 7.8件 〔平成34(2022)年度〕	

# 魅 力発信! 知って見て好きになる ふかやプロジェクト

「ふかや」の魅力を発信するため、積極的なプロモーション活動に取り組み、「ふかや」の知名度の向上、イメージの確立を図ります。また、住みよいまち、働きやすいまち、子育てしやすいまちといったイメージの確立により、「ふかや」に住みたい人、住み続けたい人を増やします。

プロジェクト指標名	現状値	目標値	主な取組
20代・30代人口の社会増減数	△291人 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ △214人 〔平成34(2022)年度〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シビックプライドの醸成</li> <li>○メディアの活用や広報戦略などによる知名度及びイメージの向上</li> <li>○ふっかちゃんをはじめとしたあらゆる地域資源の活用</li> <li>○地域の魅力を生かした交流の活性化 など</li> </ul>
埼玉県内における深谷市の魅力度	12位 〔平成28(2016)年度〕	▶▶▶ 5位 〔平成34(2022)年度〕	



# 行政分野別計画

将来都市像を実現するため、基本構想における6つのまちのイメージに基づく、35の個別施策を体系的に定め、各種施策の展開を図ります。

基本構想における6つのまちのイメージ	行政分野別計画	
	基本施策	個別施策
<p>健康でいきいきと暮らせるまち (子育て・保健・福祉)</p>	<p>健やかに成長できるまちづくり</p> <p>健やかで元気に暮らせるまちづくり</p> <p>地域で支え合って生活できるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て支援の充実</li> <li>●保育サービスの充実</li> <li>●青少年の健全育成の推進</li> <li>●健康づくりの推進</li> <li>●地域医療体制の充実</li> <li>●地域福祉の推進</li> <li>●高齢者福祉の推進</li> <li>●障害者福祉の推進</li> </ul>
<p>次代を担う人と文化を育むまち (教育・文化)</p>	<p>共に学び、成長が実感できるまちづくり</p> <p>誰もが生きがいを持ち、学ぶことのできるまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「生きる力」を育む学校教育の推進</li> <li>●家庭・地域・学校の連携による教育力の向上</li> <li>●生涯学習の推進</li> <li>●郷土の歴史・文化の継承と活用</li> <li>●スポーツ・レクリエーションの推進</li> </ul>
<p>活力とにぎわいにあふれるまち (産業振興)</p>	<p>農業のブランドを高め、伝えるまちづくり</p> <p>雇用とにぎわいを生み出すまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●農地の保全・活用と安定した農業経営の支援</li> <li>●農畜産物の販売流通体制の充実</li> <li>●商工業の振興</li> <li>●観光資源の整備と活用</li> <li>●就労環境の整備</li> </ul>
<p>安心とやすらぎを感じられるまち (暮らし・環境)</p>	<p>備えができ、安全・安心なまちづくり</p> <p>市民の絆が深まるまちづくり</p> <p>人と自然にやさしいまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害に強い防災体制の推進</li> <li>●消防・救急体制の充実</li> <li>●防犯・空き家対策の推進</li> <li>●地域コミュニティの推進</li> <li>●自然・生活環境の保全</li> <li>●環境衛生の推進</li> </ul>
<p>快適で利便性の高いまち (都市・生活基盤)</p>	<p>都市整備の行き届いたまちづくり</p> <p>交通アクセスの便利なまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●良好な市街地・住環境形成の推進</li> <li>●水の安定供給と下水処理の適正化</li> <li>●自然・文化を生かした景観形成</li> <li>●治水対策の推進</li> <li>●道路・交通環境整備の推進</li> <li>●公共交通の維持確保と交通安全の推進</li> </ul>
<p>みんなで創る協働のまち (協働・行政経営)</p>	<p>一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり</p> <p>将来に向けた持続可能なまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権・個性が尊重される社会の実現</li> <li>●男女共同参画の実現</li> <li>●情報発信・共有の推進</li> <li>●市民との協働・交流の推進</li> <li>●行財政運営の推進</li> </ul>